

ご あ い さ つ

全国重症心身障害児（者）を守る会大阪支部
大阪府重症心身障害児・者を支える会
会長 長谷川 幸子



支える

No.113

大阪府重症心身障害児・者を支える会

全国重症心身障害児（者）を守る会

大阪支部

大阪府重症心身障害児・者を支える会

全国重症心身障害児（者）を守る会

大阪支部

昨年に続き、機関紙「支える」の発行回数が少なくなり申し訳ありません。運営委員会はウェブを利用できる委員での開催となっています。インターネットの他、電話、郵便、FAXといういろいろな手段を使つてのやり取りで活動を進めています。

この原稿を書いているのは10月の終わりです。大阪府では9月30日に緊急事態宣言が解除され、10月25日には様々な制限が徐々に解除されています。このままコロナ感染症が収束していくのか、まもなく第6波が訪れるのか、さらにインフルエンザの流行も心配されています。

煩わしいマスクに手袋、頻繁な消毒から解放される日がくるのかと、ストレスは溜まったままです。このような状況の中、重症心身障がい児・者に関わってくださっている支援者、医療従事者の皆さまに感謝を申し上げます。

「支える会」の活動をご報告いたします。

9月、大阪府の医療的ケア児等コーディネーター養成研修では「当事者・家族の思い」をテーマに講義をさせていただきました。我が子の障がいを受け入れるまでの気持ちや、通園施設、学校で体験した様々なこと、多くの支援を受けて今の生活があること、そして将来への不安などをお話しました。大きな会場で間隔をとっての開催でした。11月には大阪市でも同様の講義をさせていただきます。

10月、大阪府の医療依存度の高い重症心身障がい児者等支援部会に出席しました。9月に施行された『医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律』の全体像やこれから大阪府が取り組んでいくことなどが議題でした。会議の内容は後日、大阪府のホームページに公開されます。

全国重症心身障害児者を守る会では全国大会の中止により、両親の集い・Web版の動画が配信されています。「支える会」のホームページでもご案内しています。

近畿ブロックでも感染状況を見ながら、役員会、専門部会をウェブも併用しながらの活動です。今年の近畿ブロック研修会も中止となりましたが、来年の開催を検討中です。

便利なツールはどんどん取り入れていきたいですが、やはり、顔を合わせ、お茶を飲みながらお話がしたいなとも思います。

「支える会」では12月11日にクリスマス会を行います。感染状況を見ながら、柔軟に開催の形態を工夫していきます。皆さんにお会いして楽しいクリスマス会を開催できることを願っています。

今年度も思うような活動ができていませんが、できることを、少しずつ取り組んでいきたいと思います。ご支援、ご協力をお願い致します。（会長 長谷川 幸子）

※「両親の集い・Web版」については、4面に掲載しております。

OTK

支える

No.113

大阪府重症心身障害児・者を支える会
全国重症心身障害児（者）を守る会
大阪支部

守る会三原則

★決して争ってはいけない 争いの中に弱いもの生き残る場はない
★親個人がいかなる主義主張があっても、重症児・者運動に参加する者は党派を超え、一人ももれ無く守る



支える会「クリスマス会」のご案内

会場とオンラインのハイブリット開催



日時：
2021年 **12月11日（土）**
13：30～15：30（受付13:15～）

場所：
あべのハルカス 25階 会議室E・F
大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス25階
Tel： 06-4399-9077
（着替えなど横になることができるスペースを用意しております）

内容： ゲーム、ミニコンサート
（大阪ゆとりライオンズクラブの皆様方、他）

参加費： 会 員（ご家族、介助者もお一人につき 500円） お茶、お菓子付き
非会員（ご家族、介助者もお一人につき 1,000円） ” ”

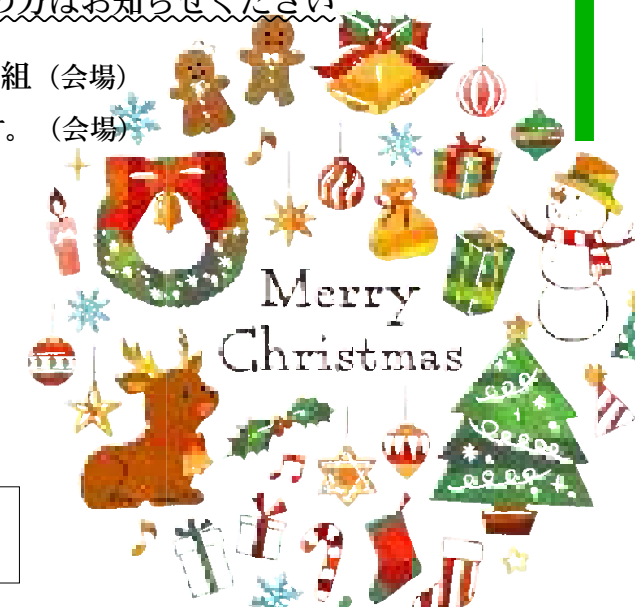
※ご自宅等からwebで参加をご希望の方はお知らせください

切： 12月3日（金） 定 員： 15組（会場）
※ 参加者多数の場合は抽選とさせていただきます。（会場）

主 催： 大阪府重症心身障害児・者を支える会

お申し込み・お問い合わせ：
（申し込みはメールでお願いします）
大阪府重症心身障害児・者を支える会事務局
T. 06(6624)2555 / F. **06(6624)2556**
※ 電話、FAXでもお受けします
MAIL osaka@sasaeru.or.jp

新型コロナの感染状況によっては Web のみの開催となりますのでご了承ください。



Merry Christmas

発行所 大阪身体障害者団体定期刊行物協会
〒五三〇一〇〇五四
大阪市北区南森町二一三二一五〇五
（会員の方は会費の中に含まれています）

編集・責任者
（事務局）〒545-1002
大阪市阿倍野区阪南町5-1-15
育徳コミュニケーションセンター2F
TEL 06-6166-2241
FAX 06-6166-2412
郵便振替口座0093019169598
大阪府重症心身障害児・者を支える会 長谷川 幸子

編集後記

コロナ感染症対応に気を取られる毎日ですが、近年、異常気象による集中豪雨など災害が各地で発生しています。

我が家でも少しずつ備えを充実させていっていますが、エレベーターが使えなくなった時、最悪、私一人で首が座っていない二十代の息子と避難する、肝心なところが手付かずです。

皆さんとお会いして情報交換したいです。（H・S）

令和3年度

全国重症心身障害児（者）を守る会 要望書

※6月26日支部長会議にて採択。厚生労働省・文部科学省（7月6日 全国特別支援教育推進連盟 経由）、日本重症心身障害福祉協会（8月3日）、国立病院機構本部（8月4日）に提出済。

令和元年12月に発生した新型コロナウイルス感染症が世界規模で猛威を振るい、私たちの日常生活に深刻な影響を及ぼしています。未だ収束の兆しが見えない中、国・自治体・関係機関および医療従事者の皆様には重症心身障害児者（以下、重症児者）等への支援をはじめ様々な対策を講じていただいておりますことに心より感謝申し上げます。

当会は昭和39年6月に、重い障害児をもつ親たちが「最も弱いものをひとりももれなく守る」という基本理念のもと結成し、今年で57年を迎えます。重症児者のいのちが守られ、施設にあっても在宅にあっても一人一人が豊かに生きられることを願い、運動を続けてまいりました。

近年、医療技術の進歩により、在宅で医療的ケアを必要とする重症児者の増加や高齢の親による介護の限界が問題となつてきております。このような実情を踏まえ、当会では、今後とも親自身が自らの責任と義務を果たすとともに、会の三原則に則り、どんなに障害が重くてもそのいのちが守られ、一人一人がかけがえのない人生を豊かに生きられるよう、社会の共感を得られる活動を真摯に続けてまいります。

また、重症児病棟を有する全ての国立病院において通所事業を実施していただきますようお願いいたします。

一、医療的ケアが必要な児童生徒にとつては、学校において医療スタッフ等の人員配置と設備が欠かせません。また、学校生活や送迎では保護者の付き添いも余儀なくされています。医療的ケアがあつても身近な地域で教育が受けられるよう教育環境の整備と地域格差の是正を図るとともに、教育を受ける機会が確保されるよう体制の整備と充実をお願いいたします。

一、どんなに重い障害があつても一人一人の可能性を秘めています。特別支援学校で学んだことを継続するため、卒業後は、障害福祉サービスでそのバトンを受け取る支援設計図を障害者総合支援法に明記してください。具現化する場合にあつては、「療養介護」「生活介護」等の個別給付支援制度の「その他の必要な日常生活上の支援」などに生涯学習相応の支援を明記し、特別支援学校教員OB等支援者を雇用するための加算報酬を設けてください。また、生活介護には「居宅訪問型児童発達支援」「同様の事業として」「居宅訪問型生活介護」事業の創設をお願いいたします。

一、近年、全国の都市部を中心に重症児者施設が開

ここに会員の総意に基づき、次のことを要望いたします。

一、新たな感染症に備え、各自治体においては日頃からマスク・手指消毒剤をはじめ衛生用品・医療物品等の備蓄をお願いいたします。併せて、流行時に重症児者の家庭や施設・事業所等に速やかに供給いただけるよう体制の確保をお願いいたします。

一、新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種について、「重症心身障害」を「優先接種の上位に位置づける基礎疾患を有する者」の範囲に認めていただきましたことに感謝申し上げます。重症児者は濃厚な医療や様々な合併症を抱えている方が多く、感染症に罹患した場合には重症化することが予測されます。新型コロナウイルス以外にも、今後新たな感染症が流行した際において早期のワクチン接種をお願いするとともに、自らの不調を伝えることができない重症児者のいのちを守るため、日頃から本人の状態をよく知るかかりつけ医等から接種できるようお願いいたします。

一、重症児者施設および国立病院においては、個別の支援計画を作成し年齢・状態に応じた日中活動の提供に取り組んでいただいているところですが、密にならない環境に配慮しながら、引き続き充実した日中活動が受けられるよう、柔軟な対応・工夫をお願いいたします。また、感染症流行時にあつても、入所者の家族にできるだけ面会の機会を設けていただけますようお願いするとともに、介護者の感染等により在宅生活が困難になった重症児者を安全に受け入れられるよう環境の整備と体制づくりをお願いいたします。



一、近年、人工呼吸器など日常的に医療的ケアを必要とする在宅の重症児が増加傾向にあり、その家族への支援は緊急を要する課題となっています。市区町村・都道府県におかれましては、重症児者とその家族が地域において必要な支援を円滑に受けられ、安心して暮らせるよう、保健、医療、福祉、教育等関係機関による連携体制の促進をお願いいたします。

一、短期入所、通園・通所事業については、重症児者の在宅生活を支える上で欠かすことのできない重要な施策です。入所施設においては、専門機能を活かした地域支援の拠点として、短期入所における超重症児の受け入れの強化、通園・通所支援、相談支援等の機能の更なる充実をお願いいたします。

一、重症児者を対象とした児童発達支援事業ならびに生活介護事業については、身近な地域で通えるよう実施箇所数の更なる拡充を図っていただくとともに、医療的ケアの実施体制の整備も併せてお願いします。また、感染症に備え十分なソーシャルディスタンスを保つため、柔軟な対応・工夫ができるよう支援をお願いいたします。

一、国立病院におかれましては、人員配置を拡充し、手厚い療育体制を確保するとともに、入所者のQOLの向上に向けた取り組みをお願いします。

支える会ホームページのご案内

ドメイン名 <http://www.sasaeru.or.jp/>
メールアドレス osaka@sasaeru.or.jp

◎様々な御意見・御質問や情報をメール
やFAXにお寄せ下さい。

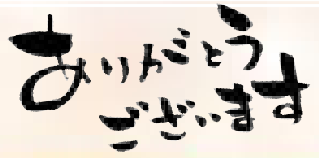
全国・各地へリンクあり！



「支える会」事務局

〒545-0021
大阪市阿倍野区阪南町5-15-28
育徳コミュニティーセンター2階
大阪府重症心身障害児・者を支える会
会長 長谷川 幸子
TEL 06-6624-2555
FAX 06-6624-2556
＜郵便振替＞ 00930-9-69598





高石ライオンズクラブ 様
よりご寄付をいただきました。



去る3月10日（水）、支える会事務局にて高石ライオンズクラブ様より、活動のためにご寄付を頂きました。

多くの方々の善意のこもったご寄付を賜り深く感謝致します。賜りました御寄付は、会活動の為に大切に使用させていただきます。

また、機関誌発行の都合からご報告が遅くなりお詫び申し上げます。

会費納入のお願い

既に納入がお済みの方にはあしからずお許しを賜りますようお願い申し上げます。

＜郵便振替＞
00930-9-69598
大阪府重症心身障害児・者を支える会

＜問い合わせ＞
TEL 06-6624-2555
FAX 06-6624-2556

ゆうちょ銀行払込手数料改定のお知らせ

2022年1月17日（月）より、ゆうちょ銀行の払込手数料が値上がりします。新たに加算料金として窓口、ATMから現金での払込みに対して「110円」が加算されるようになります。ゆうちょ口座から通帳またはカードでお支払いをする場合は加算されません。

当会ではゆうちょ口座をもたない方の会費払込に対して、「110円」を充当することに決定しました。

ゆうちょ口座のない方は、払込の際に、「110円」を差し引いた金額をお振込みください。

例：本部会員年会費 10,200円
10,200円－110円＝10,090円 を払込ください。

「支える会」入会のご案内

大阪府重症心身障害児・者を支える会
(全国重症心身障害児(者)を守る会の大阪支部)
への入会についてご案内いたします。

【個人会員】	◎年会費 10,200円
	本部会員 及び 大阪支部会員
【法人・団体会員】	◎年会費 3,600円
	大阪支部会員
【法人・団体会員】	◎年会費 10,000円（1口）
	本部会員 及び 大阪支部会員
【協力会員】	◎年会費 3,000円（1口）
	大阪支部会員（運営資金の協力会員）

☆申込み・問い合わせは事務局までお願いします



オンデマンドによる動画配信

「両親の集い Web版」

« 12月24日（金）まで »

守る会では新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、今年度予定していた第58回重症心身障害児（者）を守る全国大会が中止となりました。

そこで、会員の皆様に重症児者を取り巻く情勢について最新の情報をお伝えするとともに、守る会への理解を深めていただくために動画を配信いたします。

※ 守る会・支える会ホームページから、配信ページにて無料視聴できます。

※ インターネット環境が整っていない会員の方にも視聴できるようDVDの貸し出しを準備中

内 容：

行政説明 1

「行政説明 ～障害児支援関連～」
厚生労働省 社会・援護局 障害健福祉部
障害福祉課 障害児・発達障害者支援室
障害福祉専門官 刀根 暁氏

行政説明 2

「国の動向 ～新しい時代の特別支援教育～」
文部科学省 初等中等教育局
特別支援教育課
特別支援教育調査官 菅野 和彦氏

講演 1

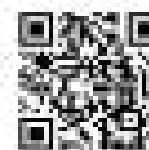
「ポスト・コロナ時代と重症児者の医療福祉」
社会福祉法人旭川荘 理事長
全国重症心身障害児（者）を守る会
顧問 末光 茂氏

講演 2

「西別府病院の障害福祉サービスの取り組み」
国立重症心身障害協議会 会長
国立病院機構西別府病院 院長
後藤 一也氏

講演録

「重症児（者）に支えられて」
第17回関東・甲信越ブロック大会
(平成19年9月30日)
基調講演より
全国重症心身障害児(者)を守る会
会長 北浦 雅子



全国重症心身障害児（者）を守る会
<https://www.normanet.ne.jp/~ww100092/>

大阪府重症心身障害児・者を支える会
<http://www.sasaeru.or.jp/>



大阪きょうだいの会「対面例会」再開

情報



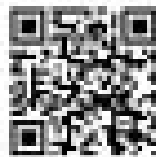
ソーシャルネットワーク
大阪きょうだいの会 QRコード



↑ note



↑ facebook



↑ Twitter

18歳以上の障害児者の兄弟姉妹を対象にした「例会」を奇数月の第4日曜日の午後に10年余り定期開催してきましたが、2020年～2021年は新型コロナの影響で5回しか開催できませんでした。例会開催時には会場を広い部屋に変更したり、アルコール消毒、換気、マスク、座席の間隔、休憩などに気を配りました。

今年の9月に10か月ぶりに再開した例会の参加者は5名（男性2名、女性3名、初参加の方女性2名、20代～70代）でした。

「いろいろなお話や意見が聞けてとてもありがたかったです。同じ年代の方もいらっちゃって、共感したり参考になることがたくさんありました」（女性）

「すごくいい雰囲気でお話しができてとても楽しかったです。明るく（？）皆さんお話ししてくださったので気持ちが軽くなりました」（女性）

お互いの顔を見ながら語り合っていると、言葉以外の表情やしぐさ、対話の微妙な間合いが「きょうだいあるある話」を盛り上げ、豊かにしてくれています。異世代の人たちと議論や情報交換をするなかで学ばされる事、気づかされる事、刺激され勇気づけられる事がたくさんあります。

疫病や戦乱、貧困などで世の中が不安定になり互いの分断化と対立が進む中では、様々な問題を抱えたマイノリティ（社会的弱者）が孤立せずにその人なりの「普通の暮らし」を維持することがますます難しくなりそうです。

当事者の自尊感情が大切にされ育まれるような居場所づくり（きょうだいの会の例会もそのひとつです・・・）がこれからは必要だと思います
あなたのご参加をお待ちしております。

例会のご案内

- 第66回例会 2021年11月28日（日）、大阪市教育会館（アネックスパル法円坂）3階8号室。最寄駅＝JR森ノ宮、地下鉄＝森ノ宮・谷町4丁目。
電話＝06-6943-5021
- 第67回例会 2022年1月23日（日）、国労大阪会館3階中会議室。最寄駅＝JR天満。
電話＝06-6354-0661
- 第68回例会 2022年3月27日（日）、国労大阪会館3階中会議室。最寄駅＝JR天満。
電話＝06-6354-0661

★いずれも13時15分～17時。参加費1,000円。

★ご連絡は世話人（溝上090-2384-9368）まで、ショートメール又は電話でお願いします。
当日参加も歓迎です。

（2021年10月25日）

周知情報 令和3年度 — ★YouTube 動画配信研修 —

大阪府障がい者地域医療ネットワーク推進事業実施連絡会研修会

申込期間： 令和3年 10月7日（木）～ 11月30日（火）

視聴期間： 令和3年 10月21日（木）～12月17日（金）

参加費： 無 料 / 時 間： 全5時間程度

対 象 者： 医療関係者の皆様

主 催： 大阪府障がい者地域医療ネットワーク推進事業実施連絡会
（事務局：大阪府 福祉部 障がい福祉室 地域生活支援課）

問合せ先： 電話番号 06-6944-6671（直通） ファクシミリ番号 06-6944-2237

メール chiikiseikatsu@sbox.pref.osaka.lg.jp



↑申込QRコード

【第1部 研修テーマ：脳性まひによる障がいのある方への支援を理解する】

1. 脳性まひのそれぞれの年齢における生活機能分類について
講師 兵庫県立障害児者リハビリテーションセンター センター長 柴田 徹
2. 大人になったとき健やかに過ごすために子どもから気をつけていくべきこと
講師 社会医療法人大道会 ボバース記念病院 副院長 吹上 謙一
3. 脳性まひの子どもの遊び・大人の活動について
講師 ベルデさかい（堺市立重症心身障害者（児）支援センター）リハビリテーション部 部長 松本 茂樹
4. 学齢期から成人期への切れ目のない支援について
講師 社会福祉法人愛徳福祉会 大阪発達総合療育センター 地域医療連携部 地域医療・福祉相談室 室長 近藤 正子

【第2部 研修テーマ：脊髄損傷者の復職を考える ～様々な支援事例を通して～】

1. 高位脊髄損傷者等が復職する先進事例等について
講師 社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院 診療部長 住田 幹男
2. 福祉サービス施設における就労支援の取り組みについて（創設から55年の取り組み）
講師 社会福祉法人太陽の家 京都事業部 就労支援課長 杉本 智 / 総務・作業支援課長 西山 英樹
3. 生活訓練を利用し、復職した支援例について
講師 社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団 障害者支援施設 自立生活訓練センター 支援課長（社会福祉士）飯塚 哲也 / 主査（理学療法士）相見 真吾
4. 職業能力開発校を利用し、復職（転職）した支援例、卒業生の声
講師 大阪障害者職業能力開発校 指導援助室長 小谷中 康雄 / 主査 藤澤 幹 / 卒業生 伴野 伊津美
5. 障がい者就労支援の概要と課題
講師 大阪市障がい者就業・生活支援センター 所長 前野 哲哉
6. 脊髄損傷当事者の就労体験談、コロナ禍における変化
講師 一般社団法人 大阪脊髄損傷者協会 理事 中田 康宏 / 理事 山口 一磨
7. ディスカッション（脊髄損傷者の復職について）